



市制35周年を記念して「ふるさと枚方」らしい風景を将来に伝承していくことを目的に枚方八景を制定しました。

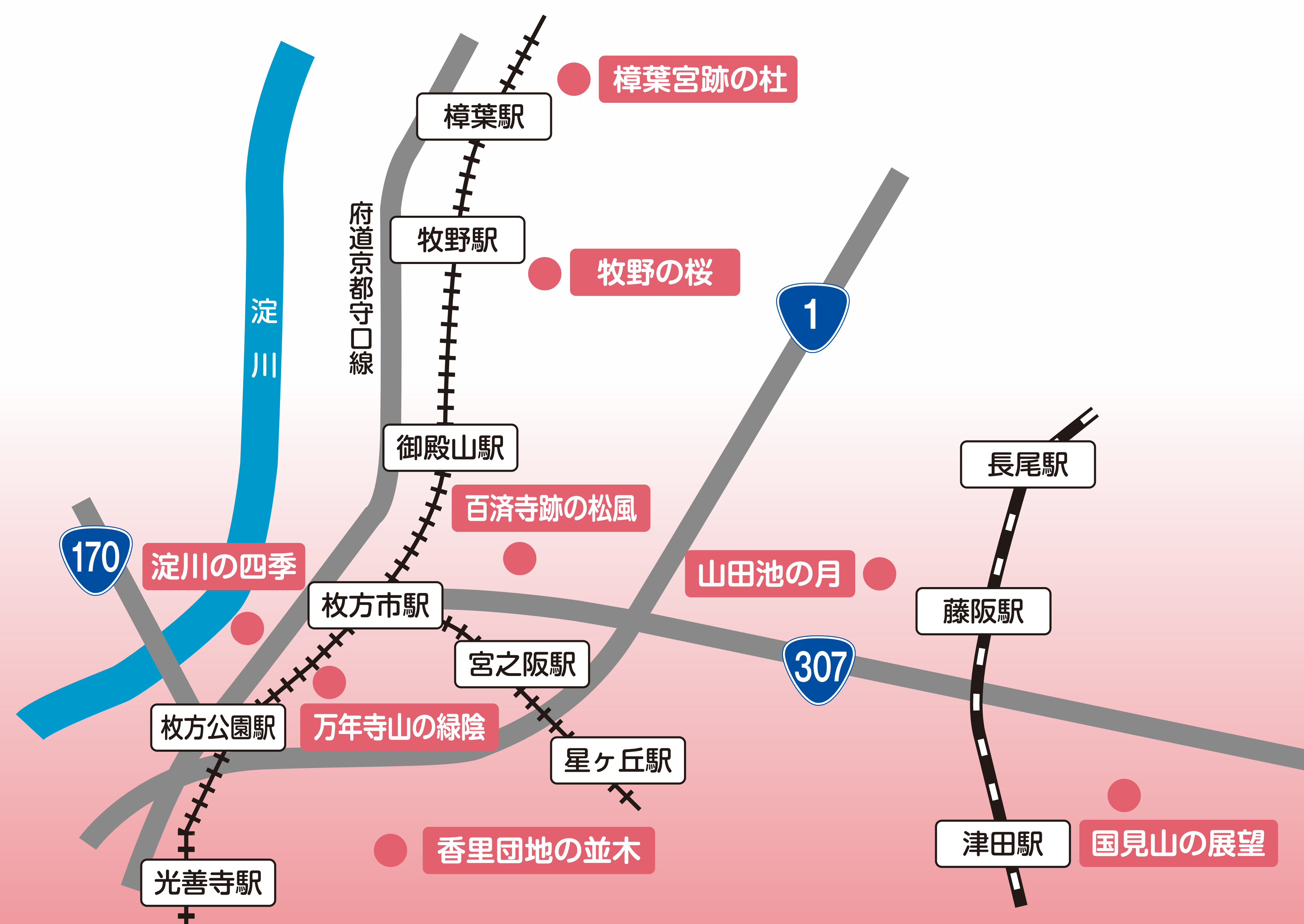
昭和59年10月1日制定 枚方市



English guide  
한국어 안내  
中文 指南



枚方八景位置図



# まきの の さくら 枚野の桜

枚野公園は、桃山時代の華麗な建築を伝える片埜神社（枚野一之宮）の北側にあります。この地は古くから由緒ある所でした。「落花の雪に踏み迷う、交野の春の桜狩」と『太平記』に書かれている交野（交野ヶ原）は、この付近から南にひろがっています。

ありわらのなりひら 在原業平が、これたかしんのう 惟喬親王とともに渚の院をたずね、咲きほこる桜をみて

世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし  
(古今和歌集・伊勢物語)と詠みました。また、藤原俊成は交野の桜を思って

またや見む交野のみ野の桜狩 花の雪散る春のあけぼの  
(新古今和歌集)と詠んでいるように、このあたりは平安の頃から桜の名所として都の貴族たちに親しまれました。

片埜神社の神域は、明治の頃には5ヘクタールほどあり、大阪歯科大学付近の松林はその面影を残しています。

戦後、広い神域の一部を市が譲り受けて枚野公園を造成しました。

